

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズハウスのぞみ上市					公表日	2026年	1月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容に応じて場所を分けたり、扉の開閉を行ったりしてスペースを有効利用出来るようにしています。その日の子どもの状況に合わせてパーテーションなども使い工夫しています。	その日の子どもの状況や状態に合わせて環境を整えるには臨機応変に対応するスピード感とチーム力が必要となってきます。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童に寄りそった支援を行うために一対一での支援を行っています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃と消毒を行っています。 活動内容に応じた場所の使い分けを行っています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動内容やこどもの状態に合わせて個別の部屋や場所を使用できるようにしています。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングで職員の気づきを元に業務改善に向けた話し合いを行っています。うまく行った事はマニュアル化し全体に周知しています。	今後はPDCAサイクルの振り返りをさらに強化して業務改善に向けた取り組みを全体に周知していきます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に個別面談を行い職員の意見を把握しています。それぞれが設定した個人目標の振り返りを行い業務改善につなげています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていません。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に一回職員の全体会を行い各月、社内研修やケース検討を行っています。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表しています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全体で共通理解の下、児童発達支援計画の作成を行っています。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			今後も継続して行っていくために、支援者会議を計画的に設定していきます。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		「生活」「運動」「学習」の3分野で独自のアセスメントを行っており日頃の支援に活かしてしています。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		アイディアを出し合ったり、相談したりしながらプログラムの立案を行っています。	今後もミーティングで活動プログラムについての話し合いの時間を設けていきたい。			

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5領域が網羅できるように月ごとのプランを立てています。週替わりでプログラム立案の担当を決めてプログラムが固定化しないようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動中心に支援を行っています。段階に応じて小集団での活動を組み合わせる他との関わりを意識した支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々のミーティングで前日の振り返りや当日の職員の動きなどを確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日のうちに確認しておくべきことがあれば話し合いを行い気付いた点を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々のケア記録・生活記録を記入し支援の検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		活動の記録としてケア記録・生活記録の共有を行っています。必要に応じて保育所等へ出向き情報共有を行い、日々の支援や移行に向けた支援につなげています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談支援専門員と連携して移行支援会議に参加し、小学校との情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○	地域の児童発達支援センターが設置されていません。	地域の児童発達支援センター設置に向け、自立支援協議会等に参加し検討を行っています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		でこぼこ保護者会のイベントへの参加を呼びかけ地域の子どもとの交流を図ることが出来ました。今後さらなる連携を行っていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やサービス提供記録、メールなどで情報共有を行い、子どもの発達について共通理解を持って支援を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じて講演会や研修会などの情報提供を行っています。	保護者が求めているニーズに応じた研修の機会を提供していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		8月に保護者向けの講演会を開催しました。のぞみの参観や保護者会も限定的ではありましたが行い、日頃の悩みや相談事を話し合いました。	きょうだい同士での交流の場を設ける機会はありませんでしたがニーズや事業所の体制を踏まえながら実施方法について検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後、どのような形で運営を図るか職員間でアイディアを出し合い検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定していますが、保護者への周知力が弱いです。	Googleドライブなどを利用して、保護者もいつでも閲覧できるようにしていきたいです。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定しています。	避難訓練の実施の機会を設定していませんが今後定期的に行っていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬方法の確認や家庭での様子など情報共有を行い対応できています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者との情報共有をもとに対応できています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定しています。	今後は定期的な見直しを行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を策定しています。	Googleドライブなどを利用して、保護者がいつでも閲覧できるようにしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日々のミーティングでヒヤリハットのケース検討を行い、月一回の全体会で全体に周知して再発防止に努めています。	ヒヤリハットの共有を確実にを行い記録に残すようにしていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修を定期的に行い知識・理解を深め、職員全員が適切に対応できるようにしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			今後、該当する方の利用がある時には慎重かつ丁寧に対応していきます。